

インタビュー

3月6日(日) 第2部 出演者



福田 ゆり子 (ピアノ)

・高松市出身

・高松第一高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部ピアノコース卒業。現在、イタリアイモア国際ピアノアカデミー本科コース、ドイツ国立ベルリン芸術大学大学院ソリスト修士課程に在籍。

音楽(ピアノ)は

「色々なことにチャレンジできた自分にとっての財産」

—「デビューリサイタル」に応募した理由

幼少の頃から、高松で沢山の方にご指導、応援していただきました。感謝の気持ちを込めて、いまの私の演奏を高松の皆様にご聴いていただきたく応募致しました。

—ピアノを始めようと思ったきっかけ

母が声楽を勉強していたこともあり、小さい頃からいつも家の中でクラシックが流れていました。自然の流れで始めたと思います。小学生の時に、故武田宏子先生との出会いで、本格的にピアノを勉強しようと思った決心しました。

—心を動かされた曲や聴いてみたい曲

たくさんあるので絞ることが難しいですが、高校生の時にマーラーの交響曲第5番を聴き、感銘を受けたのを今でも覚えています。他には、ベートーヴェンの交響曲も大変勉強になり、ソロ曲に多く活かすことが出来ます。ブラームスも大好きです。

—コロナ禍で演奏活動が制限される中、特に大変だったこと

オンラインで演奏をしなくてはならないことがあり、試行錯誤しました。例えば、ライブだと表現を伝えることを、ホールが助けてくれますが、カメラやマイクを通して撮るとなると、細かいニュアンスの表現を冷静に考えながら演奏することが難しかったです。

—最後に一言

この度はデビューリサイタルに出演できますこと大変嬉しく思っております。沢山の方々に応援していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これまで多くの先生方にお世話になりました。高松で演奏できることを楽しみにしています。